

## 施策評価表

1次評価日(課長等) 26年 9月 30日

2次評価日(部長等) 26年 9月 30日

## 1 施策の概要

施策名	文化・芸術の振興	コード	11-1
この施策の主な内容(細施策)	①文化施設の整備、活用、②文化活動の促進支援		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	芸術や伝統文化、歴史など市民が身近に接し、特色ある芸術文化を活発に行うことができるよう環境整備を図る。		
担当部課	部 教育部	課等 生涯学習課	作成者 鮎澤 要一

## ●施策の実施内容(D0)

## 2 施策指標の達成状況

\*第4次総合計画における目標指標の達成状況(最終年度:25年度)

施策指標名	単位	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度	
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① 美術考古館入館者数	人	7,368	2,607	5,000	6,839	136.8%	12,000	12,000
指標説明	郷土の美術作品を公開し、文化向上と継承を図る。							
② カノラホール年間入場者数	人	109,492	102,856	113,900	111,279	97.7%	103,800	122,000
指標説明	舞台芸術作品鑑賞と市民の発表の場として利用促進する。							
③ イルフ童画館年間入場者数	人	30,836	25,462	28,850	30,431	105.5%	31,000	33,200
指標説明	童画のまちづくりを推進するため利用促進する。							

## 3 施策全体にかかる合計コストの推移

\*項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位:千円

	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
直接事業費	#VALUE!	#VALUE!	#REF!	#VALUE!
人件費	#VALUE!	#VALUE!	#REF!	#VALUE!
合計コスト	#VALUE!	#VALUE!	#REF!	#VALUE!

## ●施策の評価(CHECK)

## 4 施策の現状評価

\*25年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調/不調の判断

・新美術考古館は、市民が心豊かに学び集うことができる生涯学習の成果を発信する場、郷土の芸術・文化・歴史を顕彰し、地域に開かれた館、街なかの賑わいや観光にも貢献できる施設として、11月3日に移転整備され開館した。開館1年目である入館者数は、目標値を上回ることができた。

・施設整備がされたことにより、入館者・ワークショップ参加者などへの新鮮さや親近感が高まった。

・カノラホール入館者は前年度より多くの入館者があり、ほぼ25年度の目標値に近づいた。

・イルフ童画館は「荒井良二の絵本の世界」「岡部冬彦絵本原画展」「くまの学校絵本原画展」では多くの入館者があり、25年度の目標を達成できた。

\*岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み/弱みとなる要因

岡谷市の強み	新施設の開館による入館者数の増。文化施設がコンパクトに点在することによる他施設との連携【イルフ】世界にも認められた、郷土の誇りである芸術家「武井武雄」の魅力
岡谷市の弱み	新施設維持管理の財政的な負担

## 5 今後の外部環境の変化

\*27年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	平成28年度導入予定の指定管理者制度への移行
不利に働くもの	特になし

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 平成27年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

\* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由  
 \* 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	魅力ある特別企画展及び常設展示の企画や定期的なワークショップの開催を他文化施設、地元商店街等と連携を図りながら行い、文化を核にしたまちづくりを推進する。
見直しを行う分野	市内小学校等学校関係との連携については、出前講座など交流プログラム事業の促進を図る。

●27年度の優先度

\* 事務事業の方向性が「継続」の事業についてA～Cにランク付け  
 A：拡大、B：現状維持、C：見直し、－：廃止・完了・統合

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	指標名	単位	成果指標				妥当性	方向性	優先度
							直接事業費		人件費				
							23年度	23年度	23年度				
							24年度	24年度	24年度				
							25年度	25年度	25年度				
							26年度	26年度	26年度				
1	公共施設	あり	文化会館管理事業	施設稼働率	%	45	176,651	10,400	高い	継続して実施	B：現状維持		
						49	218,047	11,600					
						55	211,286	5,600					
							161,491	5,600					
2	公共施設	あり	童画館管理事業	施設稼働率	%	100	54,285	10,800	高い	継続して実施	B：現状維持		
						100	57,392	11,600					
						100	53,893	11,600					
							59,033	11,600					
3	公共施設	その他	美術考古館管理事業	施設稼働率	%	-	-	-	高い	継続して実施	B：現状維持		
						-	-	-					
						100	8,466	9,600					
						10	11,842	10,400					
4	建設	なし	新美術考古館整備事業	事業の進捗率	%	-	-	-	高い	25年度未完了	完了		
						29	57,956	12,000					
						100	141,932	8,720					
						-	-	-					
5	一般	なし	博物館・美術考古館学習事業	参加者数	人	275	1,226	2,080	高い	25年度未完了	完了		
						120	1,248	2,400					
						212	64	1,040					
						-	-	-					
6	一般	なし	美術考古館展示事業	入館者数	人	-	-	-	高い	継続して実施	B：現状維持		
						-	-	-					
						57	6,339	2,400					
							1,343	2,400					
7													
8													
9													
10													